

議会だより

かみやま

第52号

2022.5.15

3月定例会



- 第一回臨時会 2頁
- 3月定例会 3頁
- 所信表明 4頁
- 令和3年度補正予算、令和4年度当初予算 5～7頁
- 3月定例会一般質問 8～10頁

・第1回・臨時会

第1回臨時会を令和4年2月4日に開催しました。

補正予算1件 工事変更請負契約3件を審議し、可決しました。



令和3年度 一般会計補正予算 (第6号)

歳入歳出それぞれ

1億2,538万円増額

予算総額

67億3,216万円

議案第1号

債務負担行為補正 (第2条)

給食調理・配送業務委託料

令和3年度から令和6年度まで

5,808万円

民生費・福祉灯油購入費助成費

220万円

・子育て世帯への臨時特別給付金

110万円

・子育て世帯等臨時特別給付金

1億1,730万円

議案第2号

令和2年度林道施設災害復旧事業 (地すべり災害)

倉羅川井峠線1号箇所工事変更請負契約の締結



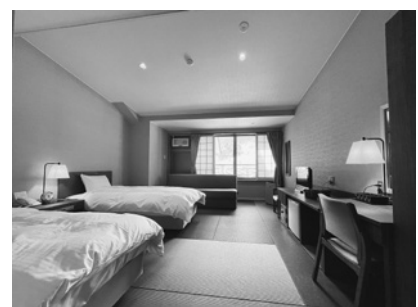
議案第3号

令和2年度神山中学校建設工事変更請負契約の締結



議案第4号

令和3年度神山温泉宿泊施設改修工事変更請負契約の締結



3月定例会は、令和4年3月9日から18日までの10日間の会期で開催した。

令和3年度一般会計補正予算（第7号）特別会計補正予算（第3号）、令和4年度一般会計・特別会計当初予算の他、条例一部改正・廃止、町道路線の認定などを含む20件及び議員発議案2件を審議し、可決した。

- 令和4年度神山町一般会計予算
- 令和4年度神山町国民健康保険特別会計予算
- 令和4年度神山町簡易水道事業特別会計予算
- 令和4年度神山町介護保険特別会計予算
- 令和4年度神山町後期高齢者医療特別会計予算
- 令和3年度神山町一般会計補正予算（第7号）
- 令和3年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 令和3年度神山町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 令和3年度神山町介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 令和3年度神山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
- 神山町国民健康保険税条例の一部改正
- 神山町民体育館の設置及び管理に関する条例の廃止
- 神山町立学校設置条例の一部改正
- 神山町建設工事分担金賦課徴収条例の一部改正
- 神山町民総合運動場の設置及び管理に関する条例の一部改正
- 神山町立公民館の設置、管理及び職員に関する条例の一部改正
- 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 神山町特別職の職員で非常勤のもの報酬、旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 町道路線の認定
- 名西郡青少年育成センター協議会の廃止
- ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議（議員発議案）
- 国立病院の機能強化を求める意見書（議員発議案）

■ 要望及び陳情

1件の要望及び陳情を採択し、意見書を提出した。

- 国立病院の機能強化を求める意見書

意見書提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 厚生労働大臣 他

16日

一般質問

森本 孝夫 議員、白土 義信 議員、新居 榮二 議員

町長の所信表明・行政報告

■ウクライナ情勢について

去る2月24日、突然ロシア軍によるウクライナ侵攻が始まり、今なお激しい戦闘が続いており市民が巻き込まれる大惨事となっている。原子力発電所の施設を攻撃するといった暴挙が今もなお進行している。犠牲になられた多くの皆様に哀悼の意を表しますと共に、即時停戦を強く求める。徳島県町村会、町村議会議長会と歩調をあわせ抗議声明がなされた。いち早い平和的解決を望む。

■新型コロナウイルスについて

令和2年から引き続き猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症。今年に入りオミクロン株が第6波として流行し感染拡大が続いている。日本での感染者数は2月末で500万人を越え、死者も2万3千人を超えている。徳島県では感染者数は1万人を超え、死者も74人となっており、いまだ収束の目途もみえない。高齢者への3回目のワクチン接種がはじまり進

行中、5歳以上の小児接種も広域で3月12日から実施されている。皆様方には引き続き気を緩めることなく、マスクの着用、手洗い、うがいの徹底、人との距離の確保など対策をお願いしたい。

■その他の事項

昨年7月の集中豪雨による大規模な土石流災害の発生、オリピック、パラリンピックの開催、10月には岸田内閣の発足、衆議院総選挙が執行、最近ではロシアの軍事侵攻の影響により、燃料、食糧や希少金属など、今後日本への輸入等が非常に厳しくなる。今後の景気の動向に注視し町政運営を進めていく。

■神山町職員数

令和3年度は99名。行政職4名、現業職2名が退職し、新規採用は行政職2名。本年4月1日時点では、行政職90名、現業職5名の95名となっている。昨年度に引き続き神山つなぐ公社、徳島県後期高齢者医療広域連合へそれぞれ1名出向。豊富

な知識と経験を持つ職員の再任用は、3名採用する。

■新年度の主な事業

【総務費】

平成27年度創設された「まち・ひと・しごと創生事業」を今年度も実施。利用が低迷している町営バスから、タクシーを使ったあらゆる公共交通事業の検討をする。

【民生費】

成年後見制度の拡充のため、成年後見支援センターを役場内に設置し、事業を実施。

【衛生費】

3回目新型コロナウイルスワクチン接種にかかる費用と定期の予防接種となっている子宮頸がん予防ワクチン接種を進めていく。

【地籍調査事業】

阿野字長谷644筆と阿野字井の谷381筆、本名620筆を継続。下分字地野420筆、南地野97筆、京地304筆、阿野字歯ノ辻217筆、下地421筆、北馬喰草204筆を計画している。

【林業関係】

森林基盤整備事業で、継続して林道奥屋敷線開設工事と、農山漁村地域整備交付金事業で、継続して林道殿宮線改良舗装工事を進める。

【商工費】

神山温泉の給湯、空調設備の更新工事、創造の森の広葉樹植栽事業を進める。

【土木関係】

橋梁点検、橋梁改修、町道の法面落石対策を進める。法定点検で橋長15メートル未満の85橋の点検、修繕工事として神川橋、文化橋、森の前橋を予定。町道野間殿川内線法面对策、中津本名線の道路改良工事の設計業務を、中内線、馬喰草行者野線の改良舗装工事、元山線舗装工事を予定。

【消防費】

避難所備蓄食料品の入替購入、団員の活動服、手袋を購入する。

【教育関係】

中学校体育館の建設関連経費、鬼籠野公民館、生活改善センターの改修工事、鬼籠野グラウンドの照明LED化事業を進める。

令和3年度
一般会計補正予算 (第7号)

歳入歳出それぞれ

2億1,043万円増額

予算総額

69億4,259万円

歳入	国庫支出金	土木費国庫補助金	社会資本整備総合交付金 (活力創出基盤分)	4,449万円
		総務費国庫補助金	新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金	1,051万円
	寄附金	総務費寄附金	ふるさと振興事業に対する指定 寄附金	1億1,983万円
歳出	総務費	積立金	ふるさと創生事業基金積立金	3億3,435万円
	林業総務費	報償費	有害鳥獣駆除報奨金	150万円
	道路新設改良費	委託料	橋りょう改修測量設計委託料	4,623万円
		工事請負費	社会資本整備総合交付金事業	3,430万円

特別会計補正予算

国民健康保険特別会計	一般被保険者医療給付費分 他	△ 25万円
簡易水道事業特別会計	中央配水管布設替工事 他	△ 1,038万円
介護保険特別会計	居宅介護サービス給付費 他	1,619万円
後期高齢者医療特別会計	後期高齢者医療広域連合納付金	△ 313万円

令和4年 第1回

名西消防組合議会定例会

第1回定例議会は3月2日石井町議場で開催。
本定例会では議案2件を審議し、原案通り可決。

【議案第1号】

名西消防組合職員の育児休業に関する

条例の一部改正

【議案第2号】

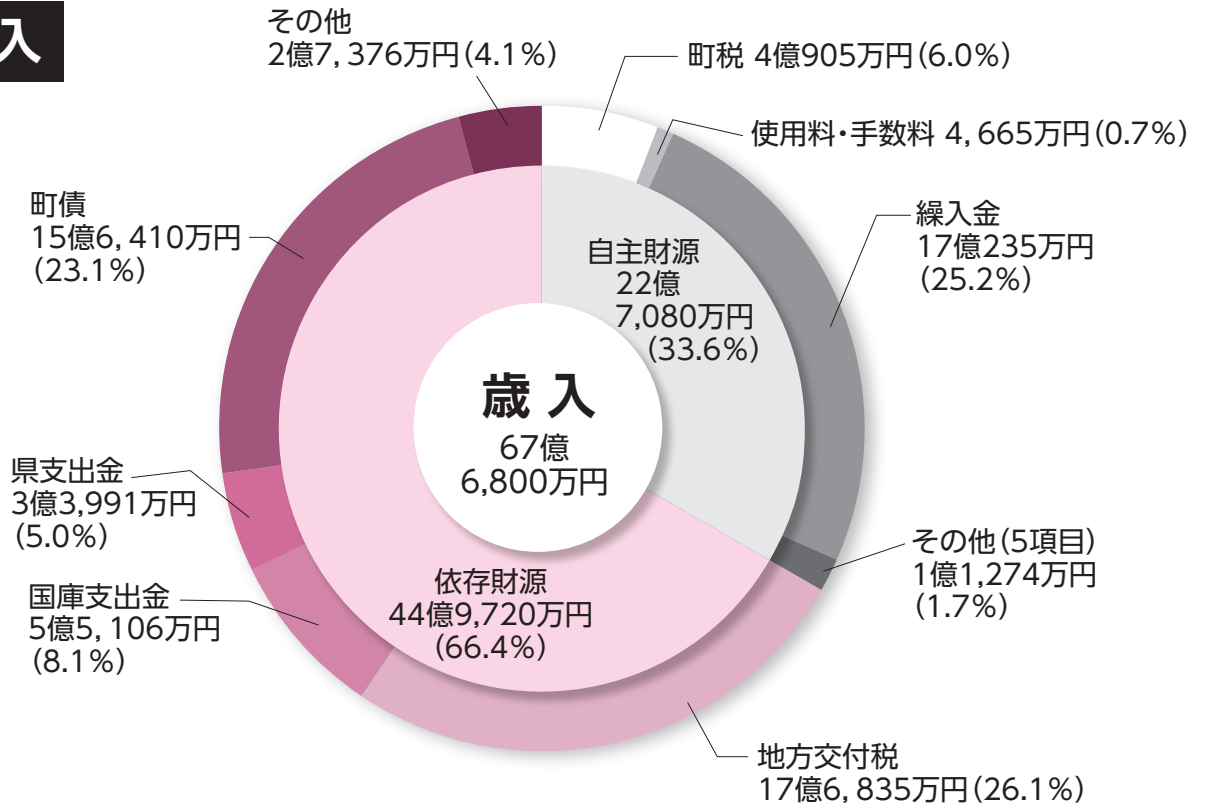
令和4年度名西消防組合一般会計当初予算

1号議案では、人事院規則などの一部改正により非常勤職員の育児休業などの取得要件が緩和されたための改正。

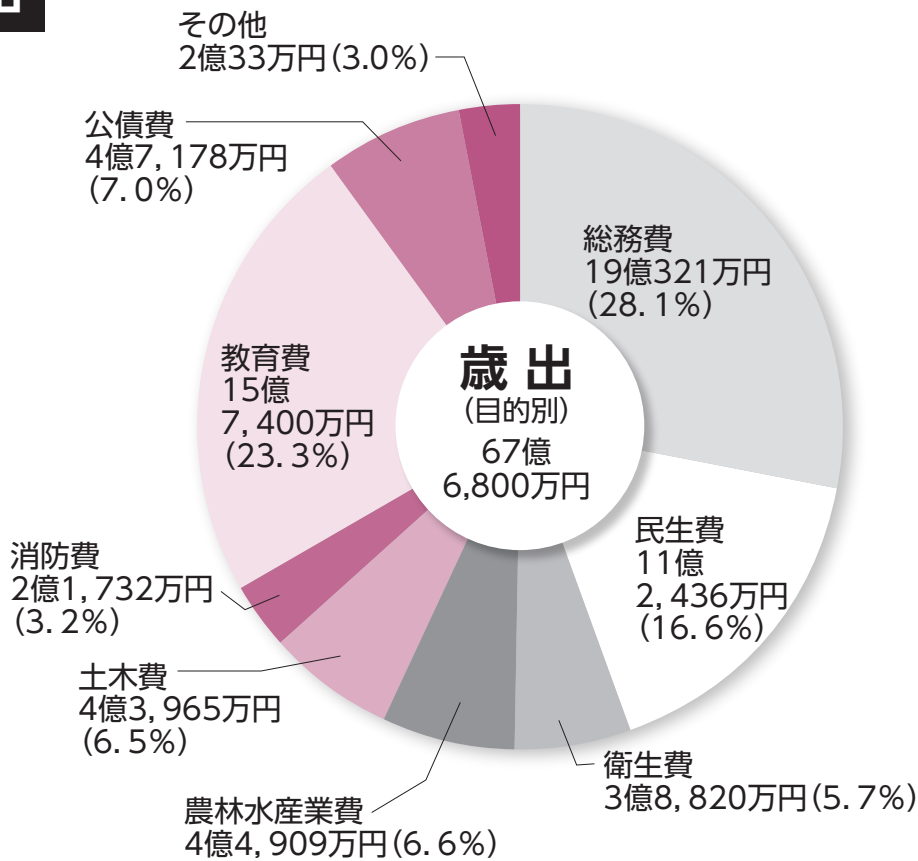
2号議案では、令和4年度一般会計当初予算、歳入歳出それぞれ4億5,311万円を可決した。

- 神山町分担金 1億3,867万円
- 石井町分担金 3億1,332万円
- その他収入 1億1,222万円

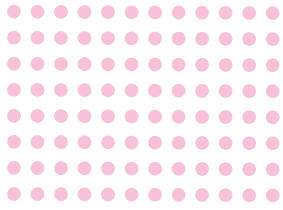
歳入



歳出



※1万円未満切捨てしているため合計額一致しません。



3月定例会 令和4年度当初予算

一般会計

67億6,800万円を可決

前年度当初予算対比46.9%増加

令和4年度特別会計当初予算

会計名	予算額	前年度当初予算対比
国民健康保険特別会計	7億9,009万円	0.3%
簡易水道事業特別会計	4億5,586万円	79.4%
介護保険特別会計	10億3,004万円	0.7%
後期高齢者医療特別会計	1億2,933万円	3.6%

一般会計及び特別会計の主な事業

- デジタル田園都市国家構想推進交付金事業委託料 1億141万円
- パソコン機器等購入費(ペーパーレス会議) 283万円
- 地域おこし協力隊活動委託料 2,095万円
- 地方創生推進交付金事業業務委託料(つなぐ公社) 7,462万円
- 鮎喰川コモン運営業務委託料 1,540万円
- 成年後見制度利用支援助成金 110万円
- 高齢者等タクシー利用助成事業委託料 1,100万円
- 老人ホーム施設改修工事 566万円
- 小規模飲料水供給施設応援対策補助金 1,000万円
- 農業次世代人材投資資金交付金 900万円
- 地籍調査事業委託料 9,450万円
- 森林境界の明確化業務委託料 2,306万円
- 工事請負費(林道新設改良費) 1億1,912万円
- 神山温泉施設改修工事 6,500万円
- 神山温泉運営交付金 2,000万円
- 賃貸住宅管理運営業務委託料(あゆハウス) 1,963万円
- 老朽危険空家除却補助金支援事業 320万円
- 若者定住支援住宅新築等補助金 1,500万円
- 消防備品購入費 1,122万円
- スクールバス委託料 2,121万円
- 中学校体育館建設工事 11億6,000万円
- 避難所緊急安全対策改修工事(公民館費) 614万円
- 給食調理・配送業務委託料 1,936万円
- 給食材料費 1,394万円

- 中央配水管布設替工事(簡易水道) 2億1,109万円
- 下分配水管布設替工事(簡易水道) 4,700万円

一般質問



森本孝夫 議員

●質問1● 新型コロナウイルス接種に ついて

町内の医療機関の先生方や医療従事者の皆様のご協力により接種希望者の65歳以上の高齢者と18歳以上64歳までの方の2回接種が完了し、安心していた。しかし、第6波の感染拡大により、新型コロナウイルスの3回目接種が往復はがき等で日程調整が進み、接種を希望される方に接種が開始されている。町内の医療機関に配分されたファイザー社製とモデルナ社製のワクチン量の確保状況と接種進捗状況、また3回目接種完了予定について伺います。

答弁 健康福祉課長

ワクチンの確保状況は11月25日にファイザー社ワクチンが600人分、その後現在までに1986

人分、モデルナ社ワクチンは1月28日105人分が、現在までに1440人分を確保して、町内で接種する分は十分な量を確保している。接種の進捗状況は3月15日現在、65歳以上の高齢者は1784人が、64歳以下は339人が接種済みです。接種完了予定は、65歳以上は3月中の完了を、64歳以下は5月上旬の接種完了を予定している。

再問

オミクロン株の第6波で子どもへの感染が広がっている中、5歳から11歳の子どもへの接種に関して、保護者に対し安全性や有効性について正しい判断ができるよう説明がされているのか。また、接種時期、接種場所についても伺います。

答弁 健康福祉課長

町内で156人が該当し3月14日現在9人が接種している。本町では神山医院が接種医療機関で、保護者への説明は接種券にその内容説明書を同封し、保護者からの相談があったときは、その都度説明をしている。

今後も引き続き感染対策を万全におこない、一日も早く収束の日がくるように願っている。

●質問2● 住宅補助制度について

空き家を改修して、神山町に住まいとする移住者に対し、また町民等に対して空き家改修及び修繕に要する費用を補助する制度があるが、この制度を使って令和3年間での地区別、移住、利活用している実績について伺います。また、現在町内で空き家情報台帳に記載された戸数もおたずねする。

答弁 産業観光課長

地区別入居実績で広野地区で2世帯9人、阿川地区で5世帯8人、鬼籠野地区で3世帯5人、神領地区で15世帯29人、下分地区で10世帯18人、上分地区で2世帯4人の合計37世帯73人である。空き家台帳に記載の戸数は210戸である。

今後も補助制度を利用して町内の空き家活用で移住者等の定住につながるように思っている。

●質問3● 道の駅トイレ改修について

神山町の観光の拠点である道の駅。トイレは県の施設であると思うが、築20年経過している。改修

に対するきまり等があるのか。県に対しての要望はどのようにしているのか。建物本体は健全であると思うが、設備に対する改修を求めめる声があり、特に足、膝、腰、などの悪い高齢者にとって使い勝手が不便との声がある。また、神山に訪れ道の駅を利用してくれるお客様に対しても時代にあった設備に取り換える必要があると思うが、町の考えをお伺いする。

答弁 産業観光課長

平成13年8月に開館され、施設も古くなってきており、今後、時代に見合ったトイレに改修できるように県に要望を考えている。



道の駅 (トイレ)

一般質問



白土義信 議員

●質問1● 石井町提案の広域火葬場整備について

板野郡5町と神山町に提案されている広域火葬場整備について、神山町はどのような決定を示すのか。

答弁 町長

石井町が提案をされている板野郡5町のうち、板野町については、広域火葬場整備の計画の呼びかけに参加の意思を述べられている。その他の4町については、参加しないというような表明があった。神山町は参加をさせていただきたいと考えている。と申すのは、徳島市営の火葬場からは平成21年4月より受入れられないと神山町に申し示された。現在は、徳島西火葬場をお願いしている。徳島西火

葬場についても、かなりの年数を経て、最新の施設とは申し上げられない状況下である。そんな中、神山町、あるいは周辺の石井町を含めて実情をみると、これから特に人口の多い石井町や板野郡の町々については利用する件数が増えてくるということもある。

くわえて、南海トラフ巨大地震の発生確率が30年以内80%程度といわれているが、この発生を想起したとき、火葬場がどうなるかということもシミュレーションしておかなければならない。これは、3・11東日本大震災の状況をみたとときに、想像はそれほど難しいものではないということから、少しでも地震、津波等々の被害が少ない地域に火葬場は必要なのではないかとこのように思われる。このようなことから、神山町は石井町呼びかけの広域での火葬場設置について、参加をさせていただきたいとこのように考えているところである。

●質問2● 町産材を使用した施設改修工事について

神山中学校も完成し、神山ま

るごと高専も本格的に工事が始まるうとしている。そうした中で、本庁舎も改修工事をしてもいいような場所が見受けられる。町産材を使ってそれらにふさわしいものに改修してはどうか。また、新築される体育館、公民館も含め、町産材を使って木のまちにふさわしい集合住宅にもマッチした建物にしていだきたいが、どのようなお考えかをお聞きたい。

答弁 町長

ここ5年ほどの町産材を使用した公共建築物について合計623・7立方メートルの町産材の使用がある。

それより以前にはこの議場もあるが、かぎりなく公共建築物については、木のまちでもあるので、できるかぎり使用していきたいと思っている。町産材の認証制度もあり、また移住者や町内在住の町民の方のリフォームあるいは新築等に関する補助制度も整っている。これを進めてまいりたいと思っている。

木の良さをまず知ってもらうためにも役場、小学校2校や保育所等々についてもできるだけ神山町

産材を使っていきたいと思っている。

また、新しく建てられる体育館についても、これもどうしても体育館という大きな建築物ということもあり、制約はあろうかと思うが、できるだけ神山町の木を使ってまいりたいところ。ようにも考えているところである。

木を使用するということは、地域内の経済循環ができるということにつながり、町内にお金が落ちるといって考え方によって、少しでも林業が活性化していけるように、考え方は非常に重要であると考えているところである。今、ちょうど地球温暖化、カーボンニュートラルと世界がそのような考えた方に移行している中、まさにCO₂を吸収する、森林の価値ということが非常に高まっており、木を使っていき、山を更新していくという考え方は非常に重要になっていくので、今後とも公共建築あるいは民間の建築物にも神山町産材、あるいは県産材等を使っていただければ、考えている。

一般質問



新居榮二 議員

●質問1 ● 河川の葦がやの状況

古くから山野に生えるススキを神山ではカヤ。水辺に生えるヨシあるいはアシをヨシガヤと呼んで化学肥料が一般的に使われるようになるまで、肥料などに利用されてきた。また近年全国各地でも台風やゲリラ豪雨による洪水被害が多発しているが、幸いにも神山町では被害が出るような洪水が発生していないため、それらの複合的な原因により、鮎喰川やその支流である谷川には、ヨシガヤが生い茂る状況となっている。タバコのポイ捨てや、たき火の不始末等が原因で火災が発生する可能性も十分に考えられる。神山のような山間部では下から上へと火が移動



河川の葦がやの状況

し、耕作放棄地や手入れのされていない山林へと燃え移り、場所によれば人家への延燃も危惧される。耕作放棄地であれば所有者が対処する必要があるが一級河川の場合徳島県が管理となっておりと思われる。神山町としてはこのような放置された現状をどのように考えているのか、今後の対応をお聞きしたい。

答弁 町長
危険度が高い所については堆砂の除去ということ等は県に要望してまいりたいと思っている所である。

●質問2 ● 神領青井夫の残土処理場について

平成29年12月定例会においてこの問題を一般質問した。当時の答弁では平成26年の使用開始予定だったが近隣住民の承諾書はもらえないが地域の理解を得ることが残土処理場運営に必要なことで利用の目的はたっていない。購入面積は農地が5,665平方メートル、山林が4,621平方メートル、購入価格はいくらだったのか。農地と山林の坪単価もあわせておたずねする。

答弁 建設課長

坪単価は、農地4,505円、山林は2,179円である。

再問

貴重な町民の皆さんからお預かりした血税をつかい平成26年使用する予定で購入した用地が8年経った現在も利用できるように

なっていないとはどうゆうことか。見通しが甘かったのではないか。使用可能な状態となっていれば神山中学校の新築工事の残土処理の問題も発生しなかったのではないかと思われる。町の見解を求めたい。

答弁 建設課長

土地購入後、現在までの残土処理場運用に向けて近隣住民の方に神山町残土処理事務局が内容説明している。未だに住民の理解が得られていないが、今後近隣住民の理解を得られたら速やかに進めたい。

再々問

町長の任期も5期目があと一年あまりで任期が終了するが、この問題は任期中に目途をつけて次の任期まで引きずらないで、今期中に稼働できるようがんばっていただきたい。

答弁 町長

青井夫の公共残土処理場の住民理解の件について任期中に解決するようという意見を頂戴した。当然私としてもそのように努力したい。

勝名地区町村議会議員研修に参加

令和4年2月16日（水）15時より勝名地区町村議会議長会、主催の研修がリモートにより行われました。演題は「災害時の議会の役割」の内容で、一般社団法人、危機管理教育研究所の、鍵屋 一 氏による講演を受けました。

災害時に議員は、何をどのようにすればいいのかなどを聞き、災害は、避けることができない。自分は大丈夫と思わず、避難をすることが大切です。想定外の事がおこれば、人は、小学生低学年なみの行動をとりがちになるので、日頃からの防災の意識を高めることにより、災害時に、冷静な判断が取れるようになる。この言葉が一番心に残りました。勝名の議会でも、勝浦議会では、議会BCP(Business Continuity Plan)が早く作成されているみたいです。本町議会も、議会活性化特別委員会で、取り組みを開始していたところで、非常に参考になる研修でした。

この、研修をいかし、今、まさに猛威をふるう感染症、又、テロ行為などの災害対応もふくめ、切磋琢磨してまいりたいと思います。

そして、今後40年以内に80、90%の確率でおこる予想の南海トラフ巨大地震などで、いち早く対応でき、皆様のお役に立てればと思います。

（高橋 義英）



令和4年度 神山中学校体育館建設工事予定地

令和4年
4月現在



神山の風景



今回紹介するのは、下分の宮前橋です。この度、メンテナンス改修工事が終わり装いが一新されました。高欄もアルミ製に変わり、橋台の鉄骨部分も新しく塗装されました。道路部分も、舗装工事をやり直して新設のような橋になりました。

この橋を渡った先に、下分保育所があるので、朝夕は、送り迎えの車で交通量があります。また、しだれ桜の名所、明王寺があるので、その時期は、交通誘導員が出て整理に当たってもらっています。

もうすぐ新緑の季節です。渡った所の大楠と、大鳥居が一段と綺麗に見える時です。下分に来た時には、ゆっくりと宮前橋を渡ってみて下さい。

(白土 義信)

議会の動き

■ 5月

30日 議長・副議長研修会

■ 6月

中旬 議会運営委員会

中旬〜下旬

6月定例会

表紙写真説明

令和4年4月8日、神山中学校新校舎に初登校の様子です。

登校する生徒は、綺麗とか凄いなど友達と話しながら、笑顔で登校していました。新校舎の中は、神山の松を腰壁、ロッカーなど沢山使用しているので、松のいい匂いがしています。

(高橋 義英)

編集後記

春とはいえまだまだ寒い日が続く中、令和4年神山町3月定例会がおこなわれ、令和4年度一般会計当初予算を含む22議案が可決されました。

今定例会中には、ロシアによるウクライナ侵攻が激化し国際社会の平和と安全が損なわれる状況となりました。神山町議会としてもロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議を表明し、一日も早い平和解決を強く要望しました。

新型コロナウイルス感染症がはじまり3度目の春をむかえました。ワクチン接種や治療薬の開発が進んでいます。マスクをはずさず、日常が早くおとずれるよう、今は感染対策をしてがんばりましょう。

(志甫 守)